

◎水産業振興の経費

漁港施設管理運営事業

産業振興課

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち
産業振興: 農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 漁業従事者等

意図 腰越漁港施設の良好な維持管理を行うとともに、老朽化や係船岸・泊地・漁業用地の不足などの改善と、市民にも利用しやすい漁港施設の整備を図るため。

効果 漁業者が円滑に漁業活動を営むことを支援するとともに、市民に開かれ環境にも配慮した漁港施設を整備することにより、地域に密着した沿岸漁業の振興を図る。

【事業の内容】

(1) 漁港施設管理事業

- ・ 漁港施設維持運営計画に基づき、漁港施設の維持管理を行った。
- ・ 腰越海岸からの飛砂による国道・歩道への砂の堆積を防止するため海浜整地業務を行った。

(2) 漁港施設整備事業

- ・ 腰越漁港整備基本計画に基づき、市民の理解を得ながら、改修整備工事を進めた。なお、風波等の影響により一部工事を翌年度へ繰越しを行った。

(3) 鎌倉地域漁港対策事業

- ・ 鎌倉地域の漁港建設について、漁業従事者等との協議を行った。また、鎌倉漁港対策協議会を設置し、第1回の協議会を開催した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- 鎌倉地域の漁港建設についての協議・検討(6-2-3-①)
- 腰越漁港の改修整備(6-2-3-②)

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
363,714	302,774	211,636	88,150	2,988
主な支出内訳				
・ 漁港施設管理事業				
冷凍冷蔵庫等修繕料				872
腰越漁港指定管理料				378
鎌倉地区漁業施設整備業務委託料				0
海浜整地等業務委託料				1,260
腰越漁港内道路擁壁整備工事				2,867
・ 漁港施設整備事業				
腰越漁港改修整備事業実施設計業務委託料				2,079
水産公共工事システム運用支援委託料				761
腰越漁港改修整備事業環境モニタリング調査委託料				1,995
腰越漁港改修整備工事費(翌年度への繰越明許費)				183,800
腰越漁港しゅんせつ工事費				16,885
・ 鎌倉地域漁港対策事業				
鎌倉漁港対策協議会委員報償				40
主な特定財源				
・ 国県支出金				139,521
・ 地方債				34,900

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-21 漁港施設管理運営事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	367 漁港施設管理事業					
		370 漁港施設整備事業					
		1330 鎌倉地域漁港対策事業					
主管課	産業振興課	関連課	道路整備課				
分野名	産業振興						
目標 (目標値)	市民生活に密着した形での沿岸漁業 漁港改修事業や関係機関との調整による漁港改修整備の推進						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	211,636千円	75,934千円	40,432千円	20年度一般財源に市 債34,900千円含む。		
	(国・県)	139,521千円	50,547千円				
	(負担金等)	344千円	2,067千円	843千円			
	(一般財源)	71,771千円	23,320千円	39,589千円			
	人員配置数	1.9人	1.9人	1.5人			
	人 件 費	18,281千円	18,126千円	13,698千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	229,917千円	94,060千円	54,130千円			
	市民1人当 りの経費	1,303円	535円	309円			
対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
親水施設利用者・イベ ント参加者数		目標値	—	—	—	—	
		実績値	—	—			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
競争入札制度の採用	◎	目標値	2業務	2業務	2業務	2業務	
		実績値	2業務	5業務			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
住民説明会等の回数	◎	目標値	1回	1回	1回	1回	
		実績値	4回	3回			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
研修会等出席回数	×	目標値	4回	4回	4回	4回	
		実績値	7回	3回			
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)腰越漁港の改修整備工事が本格化するため、漁協関係者も含め、工事に伴う合意が必要である。 (2)鎌倉地域の漁港建設については漁業者の意見をまとめる必要がある。また今後、漁業関係者や関係機関等による組織を設置し、検討する必要がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)腰越漁港の改修整備工事の本格化に対応するため、港内作業ヤードや漁船係留場所の調整などについて漁協関係者と事前に協議を行い、極力漁業活動に支障のないよう配慮を行った。また、地元住民には回覧及び説明会により工事内容の周知を図った。 (2)漁業者による鎌倉地域の漁港施設要望案の作成に際し、技術的支援を行った。また、漁業者、関係団体、公募市民、学識経験者等による第3次鎌倉漁港対策協議会を発足し、第1回会議において「必要最小限の機能を有する漁港建設」に向け前向きに協議を進めることとなった。 (3)腰越漁港の工事着手により、職員配置などの実施体制について検討を行い21年度から新たな職員体制で臨むこととなった。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1)腰越漁港の改修整備工事が2年目となり、海上工事に着手したが、風波の影響により予想以上に工事の遅れが生じた。22年度も同様の工事内容となるため、工程管理について十分な調整が必要である。 (2)鎌倉地域の漁港建設については鎌倉漁港対策協議会を発足し協議を開始したが、県関係機関等との協議・調整を鋭意進めていく必要がある。 (3)腰越漁港の改修整備に加え、鎌倉地域の漁港建設の検討が今後本格化するため、組織の見直しも含め実施体制の強化が必要である。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1)腰越漁港の改修整備工事については、21年度までの進捗を踏まえ、24年度完了までの予算及び工程について検討し、必要に応じた見直しを行っていく。 (2)鎌倉地域の漁港建設については鎌倉漁港対策協議会及び県関係機関との協議が円滑に進められるよう計画的に準備を進めていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	・腰越漁港改修整備は、平成20年度から本格的な海上工事に着手したが、地元住民への事前周知などはもちろんのこと、安全かつ計画的な工事の進行管理に努める必要がある。 ・鎌倉地域の漁港建設は、鎌倉漁港対策協議会において早期に一定の方向性がまとめられるよう、鋭意事務を進めていく必要がある。		
担当課長氏名:	磯崎 勇次		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	・腰越漁港改修整備については、平成19年度から24年度までにわたる大型プロジェクトなので、現在の進捗状況を踏まえ今後の進行管理に十分配慮し事業の展開を図っていく。 ・鎌倉地域の漁港建設は、鎌倉漁港対策協議会での協議を踏まえ、早期に市民の合意形成を図りながら基本構想策定を進める必要がある。 ・腰越漁港の改修整備に加え、鎌倉地域の漁港建設の検討が今後本格化するため、組織の見直しも含め実施体制の強化を行う必要がある。		
担当部名	市民経済部	部長名	相澤 千香子